

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【公開番号】特開 2020-18713 (P2020-18713A)
【公開日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)
【年通号数】公開・登録公報 2020-005
【出願番号】特願 2018-146330 (P2018-146330)
【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 25 日 (2021.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

照明光を被検眼の眼底へ照射すると共に、前記照明光の眼底からの戻り光に基づいて眼底画像を撮影する撮影光学系と、

制御手段と、を有し、

前記制御手段は、

前記撮影光学系における撮影範囲のうち有効に眼底からの戻り光が得られる有効範囲であって、被検眼における瞳孔の状態、開瞼状態、および、被検者の顔面形状のうち、少なくともいずれかに応じた有効範囲を検出し、

前記有効範囲の基準値であって、事前に定められた基準値と、前記有効範囲の検出値とを比較する、眼底撮影装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記基準値を、予め定められた検出期間における前記有効範囲の検出結果に基づいて被検眼毎に設定し、

前記基準値が設定された後に検出される前記有効範囲を、前記基準値と比較する、請求項 1 記載の眼底撮影装置。

【請求項 3】

前記比較の結果、前記有効範囲の検出値が前記基準値以上である場合に、前記制御手段は、前記眼底画像を自動的に撮影する、又は、前記眼底画像の撮影を誘導する請求項 1 又は 2 記載の眼底撮影装置。

【請求項 4】

前眼部または眼底の観察画像を取得する観察光学系を有し、

前記制御手段は、前記有効範囲を前記観察画像に基づいて検出する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の眼底撮影装置。

【請求項 5】

前記制御部は、前記有効範囲の検出と共に、瞼およびまつ毛のうち少なくともいずれかによるケラレが前記撮影範囲内に生じたか否かを判定し、

瞼およびまつ毛のうち少なくともいずれかによるケラレが前記撮影範囲内に生じた場合に、開瞼を促すガイド情報を、検者または被検者へ報知する、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の眼底撮影装置。

【請求項 6】

照明光を被検眼の眼底へ照射すると共に、前記照明光の眼底からの戻り光に基づいて眼底画像を撮影する撮影光学系と、

前眼部または眼底の観察画像を取得する観察光学系と、

被検眼に対する前記撮影光学系のアライメント状態を調整する駆動部と、

制御手段と、を有し、

前記制御手段は、

前記駆動部を前記観察画像に基づいて駆動制御し、Z方向に関しては、被検眼と前記撮影光学系との位置関係を少なくとも予め定められた範囲において変更させつつ、

前記撮影光学系における撮影範囲のうち有効に眼底からの戻り光が得られる有効範囲であって、被検眼における瞳孔の状態，開瞼状態，および，被検者の顔面形状のうち、少なくともいずれかに応じた有効範囲を、各位置関係で検出し、

有効範囲が最大となる前記位置関係で、前記眼底画像を撮影する、眼底撮影装置。